



市議会12月議会

NO.1396  
12月25日号  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四五八  
F四三二一四四五七



# 学校給食費の無償化 新年度から実施!

網走市議会第4回定例会の一般質問の近藤議員と松浦議員への答弁で、給食費の無償化についての考え方が示されました。松浦議員は、質問の中で、市長の公約である「給食費の無償化」の基本的な考え方を求めました。

## 保育園・幼稚園・認定保育園も

学校教育部長は「小中学校をはじめ、私立保育園や法人立保育園、幼稚園、認定こども園に通う児童生徒、園児の保護者に対して給食費の無償化を実施する」「これにより社会情勢等により経済的影響を受けている保護者の負担軽減が図られ、子育て世代への支援につながる」との考えを示し、実施時期は「新年度（4月）から開始する」。

また、地産地消の食育については、「関係機関の協力と連携で網走ならではの海の幸、山の幸を使った『ふるさと給食』をはじめ、行者菜、網走和牛、ホッケ、タコ等を利用した給食を提供し、可能な限り地場産、道内産の食材を確保し食育を推進したい」と答えました。

松浦議員は、給食を支える給食調理員の身分保障について、現在パート労働となっているた

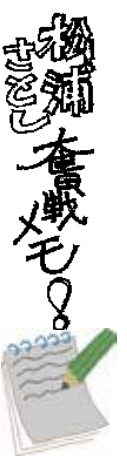


め、長く務めることができないう状況だとし、解決に向けた取り組みを求めました。学校教育部長は「調理員の給与水準は低くない。辞める理由は、家族や本人の健康上などによる。また、現業の正職員を不補充としているのは市の方針である」と述べました。

## 正職員として働けるように

松浦議員は、賃金が低くないことに対し「時給としては低くはないが、決められた時間内に仕上げなければならぬ大変な重労働である。長く働いてきた元調理員から『やりがいもあるが大変きつい仕事でもある』と聞き、手を見せてもらったがその手は変形していた」と正職員として働けるよう改善を求めました。

※日本共産党議員団は、学校給食費の無償化について、以前から憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」として、一般質問や決算審査特別委員会など機会あるごとに無償化を求めてきました。また、新日本婦人の会網走支部も何度となく請願を提出してきましたが、採択されませんでした。今回、12月議会では、565筆の署名を付けて請願を提出しました。全会一致で採択になり、無償化に大きな力となりました。署名にご協力いただき、ありがとうございました。



2022年も残り1週間となりましたが、月日が経つのは早いですね。今年も、参院選をたたかい比例で岩淵友さんが再選になりましたが、全体としては武田さんと大門さんが落選する残念な結果となりました。また、秋の網走市長選挙では、飯田敏勝さんを候補者として戦い、4749票（得票率38%）を獲得しました。何よりも市長選をたたかったことで多くの市民から「よく立ててくれた。よく頑張った」など、喜ばれていることは、日本共産党にとって大きな財産になったと思っております。新しく交流できた人たちと結びつき前進したいと考えています。

今年もみなさんには大変お世話になりました。来年は、一斉地方選挙がありますが、後半戦の市議会議員選挙では、現職の私と村椿議員で戦います。4年前に2議席回復した議席を何としても守り抜く決意です。みなさんの大きなご支援を宜しくお願い致します。



寒い冬がやってきました。灯油が高いので室温をいつもより下げて、服を多めに着るなど工夫をしている方が多いのではないのでしょうか。寒い中で生活するのは辛いですね。

今年も非課税世帯の福祉灯油1万円が実現しました。ストーブを燃やす時間を減らして頑張っている皆さんへ少しでも援助になればと思います。今、市役所で灯油券配布をしています。

暮れといえ、来週、若いお母さんたちと一緒に餅つきがあります。つき手は子ども達とお母さん。私は合の手役で、「はいっ、はいっ」のかけ声でリズムカルにつくと、あっという間にお餅が出来上がります。つきたてをちぎって丸めてお雑煮にして、いただきます。温かいものを食べて、寒さに負けなように頑張っていきたいですね。

昨年、市営住宅の省エネ工事を検討すべきではと質問しましたが市は後ろ向きです。引き続き求めていきたいと思っております。

## 流氷

12月10日に開催された新日本婦人の会の支部大会では、今の岸田政権は、防衛費倍増、軍事

拡大、賃金は上がらず、年金の引き下げなど、物価高騰に有りながら国民生活を軽視していることが指摘されました。▼大会の中で会員の方が読み聞かせを2冊読んでいただき感動したことを紹介いたします。▼図書館司書で小学生にも聞いてもらい、モヤモヤした気持ちを感じてほしいと話されていきました。▼1冊目は『兵器工場の村』、貧しい村が生活のために追い詰められて村人たちが選んだ道は、兵器をつくることでした。戦争がおきると悲しむ人、戦争がおきると喜ぶ人がいます。それはなぜ?と問うものでした。その村は戦争がなくならず貧しい村となり兵器を売り歩く毎日となったそうです。▼2冊目は『二番目の悪者』、図書館にあります。▼今、戦前のような戦争する国づくりが、戦争法から始まり12月16日には国家安全保障戦略(安保3文書)が閣議決定されました。皆さんで憲法に基づき平和外交を進める日本をつくっていきましょう。



すみっこ